

平成28年度(後学期)

# 新設科目(全学共通科目) 開講のお知らせ

## ライフステージと心身の健康



- ◆ ライフステージによって様々な変化する女性の健康をテーマとします。
- ◆ 学内外の講師の方をお招きして幅広い視点からお話しいたします。
- ◆ 低学年時(学部1~4年)の履修をおすすめします。大学院生の聴講も歓迎です。
- ◆ H28年度 後学期(第3・第4学期) 2単位 [16N0090]
- ◆ 月曜日 7・8限 (15:00-16:30) 共通講義棟 2号館 102室

詳しくは、シラバス、学生ポータルサイト、保健管理センターHPをご覧ください。

お茶の水女子大学  
保健管理センター

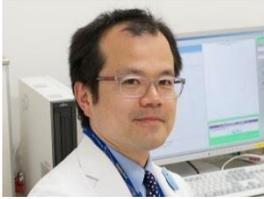
## ライフステージと心身の健康 のラインアップです

場所: 共通講義棟2-102室 月曜 7・8限 (15:00-16:30)

1	10月 3日	本田 善一郎	本学 保健管理センター	所長	内科学	オーバービュー
2	10月10日	榊原 洋一	本学	理事	小児科学 小児神経学	発達障害
3	10月17日	布施 泰子	茨城大学 保健管理センター	准教授	精神医学	大学生にとって身近な心の病
4	10月24日	市 育代	本学 基幹研究院 自然科学系	講師	栄養学	食と健康 一般(仮題)
5	10月31日	渡邊 慶一郎	東京大学 精神保健支援室	准教授	精神医学	精神疾患の予防(仮題)
6	11月 7日	森屋 恭爾	東大病院 感染制御部	教授	内科学 感染症学	感染症の今 グローバル感染症を中心に
7	11月14日	藤原 葉子	本学 基幹研究院 自然科学系	教授	栄養学	食と健康 脂質(仮題)
8	11月28日	飯田 薫子	本学 基幹研究院 自然科学系	准教授	内科学 応用栄養学	生活習慣病の基礎知識
9	12月 5日	平池 修	東大病院 産婦人科	准教授	産婦人科学	女性のライフステージと疾患 妊娠・出産
10	12月12日	高山 直子 他1名	本学 人権侵害相談室 本学 学生相談室	専門相談員 講師	女性問題 ハラスメント 臨床心理学	人権相談の諸相(仮題) 学生相談室からみる大学生生活と心の健康
11	12月19日	小玉 亮子	本学 基幹研究院 人間科学系	教授	家族社会学	ライフステージと母子関係
12	12月26日	石木 幹人	陸前高田 市立 国保二又診療所	所長	総合診療医学	災害、医療、人(仮題)
13	1月16日	湯浅 卓		国際弁護士	国際法学	国際社会での試練とサバイバル(仮題)
14	1月23日	坂中 千恵	東大病院 臨床研究支援センター	准教授	内科学 薬学	薬のできるまで 研究-治験-承認
15	1月30日	岩壁 茂	本学 基幹研究院 人間科学系	准教授	心理学研究法	感情と心理的健康

2016年9月15日現在

※ 本授業の開講に当たっては、お茶の水女子大学後援会から一部支援を受けて実施いたします。



## 女性のライフステージと疾患 妊娠・出産

東京大学 医学部附属病院 女性診療科・女性外科

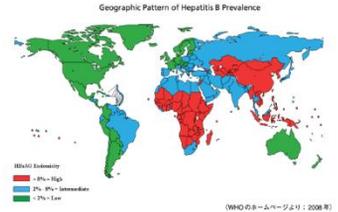
平池 修 先生



## 感染症の今 グローバル感染症を中心に

東京大学 医学部附属病院 感染症内科

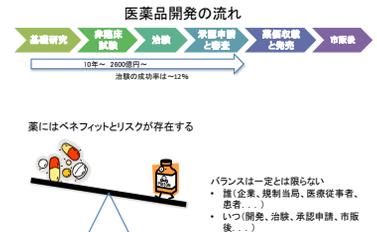
森屋 恭爾 先生



## 薬のできるまで 研究—治験—承認

東京大学 医学部附属病院 臨床支援センター

坂中 千恵 先生



## 大学生にとって身近な心の病

茨城大学 保健管理センター 精神科

布施 泰子 先生

—授業について—

摂食障害(いわゆる拒食症・過食症)、  
適応障害(学生の場合登校困難。体の調子も心の調子も悪くなる)などの大学生にとって身近な心の病について、症例を提示しながらやさしく解説します。



## 感情と心理的健康

基幹研究院 人間科学系  
臨床心理学・心理学研究法

岩壁 茂 先生

### 情動知能 (Emotional Intelligence)

- ◆ 感情の知覚
- ◆ 感情の活用
- ◆ 感情の理解
- ◆ 感情の管理



## ライフステージと母子関係

基幹研究院 人間科学系  
教育学・家族社会学

小玉 亮子 先生

皆さんは、高校までの家庭科の授業で、未来の設計図を作ったことはないでしょうか。しかし、予想通りにいかないのが人生、なのかもしれません。自分の育ってきた家庭は一つ家族像のサンプルになります。ですが、それは、例外的なのかもしれません。

将来、予測していなかったような意外な出来事に直面した時に慌てないために、私たちが想定するライフステージを、一旦、相対化してみたらどうかな、と考えました。そのために、講義では、私たちの想定するライフステージが、時代に拘束されていることを知るから始めたいと思います。そして、特に女性にとって重要な課題となる(かもしれない)母子関係のあり方が、歴史的・社会的にどのように構築されてきたのか、検討してみたいと思います。